

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なごみ 岡垣

## 目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 03 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	理念を見やすい場所に掲示しているが、職員全員が理念の意義や、介護にどのように活かしていくのか、理解できていない職員もいるので、全員が理解できる体制を作っていく。	毎日の申し送り時や職員会議の時に理念を唱和し、理念が介護の中で、利用者一人ひとりに実践できているのかを確認し、常に理念を意識して、介護の原点に振り返る習慣をつけていく。	12ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	権利擁護の制度については、一部の幹部職員のみ理解しているので、職員全員が、利用者や家族にとって制度が重要であることを理解し、必要な利用者がある場合は、支援できるように取り組んでいく。	日常生活自立支援事業や成年後見制度についての研修に職員が交代で受講し、資料やパンフレットを用意し、利用者が必要な時に内容や申請手続きについて、支援できる体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。